

安全運転

ほっと NEWS
2022年5月号

今月のクイズ

令和2年中に自動車のドライバーが起こした(第1当事者)交通事故件数は276,421件でした。そのうち75歳以上のドライバーが起こした事故件数を次の中から選んでください。

- ①4,943件(約2%)
- ②14,943件(約5%)
- ③24,943件(約9%)

(答えは裏面)



TOKIO MARINE NICHIDO

高齢ドライバー<75歳以上>の運転免許更新が一部変わります

2019年4月に東京の東池袋で、高齢ドライバーがブレーキとアクセルのペダルを踏み間違えて車を暴走させた死傷事故は記憶に新しいと思います。それ以降も高齢ドライバーの運転操作の誤りなどによる交通事故の報道が減りません。

今月は、一定の違反歴がある75歳以上のドライバーに対し、免許更新時の運転技能検査が新設された背景を通して、高齢ドライバーの方が交通事故を防ぐためにはどうしたらよいかをみてみましょう。

一定の違反がある75歳以上のドライバーは「運転技能検査」に合格しないと免許更新ができない!!

75歳以上の普通自動車運転免許保有者のうち、過去3年間に一定の違反行為※1があったドライバーは7.2%です(図1)。

一方、過去3年間に死亡・重傷事故を起こした75歳以上のドライバー(10万人当たり)のうち、過去3年間に一定の違反行為があったドライバーの人数割合は、全体と比べると約2.1倍も多くなっています。(図2)。

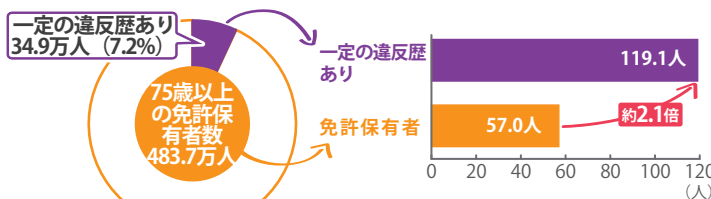


図1: 75歳以上の普通自動車運転免許保有者数に占める運転技能検査対象ドライバーの割合

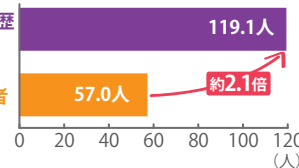


図2: 死亡・重傷事故を起こしたドライバー(10万人当たり)の比較

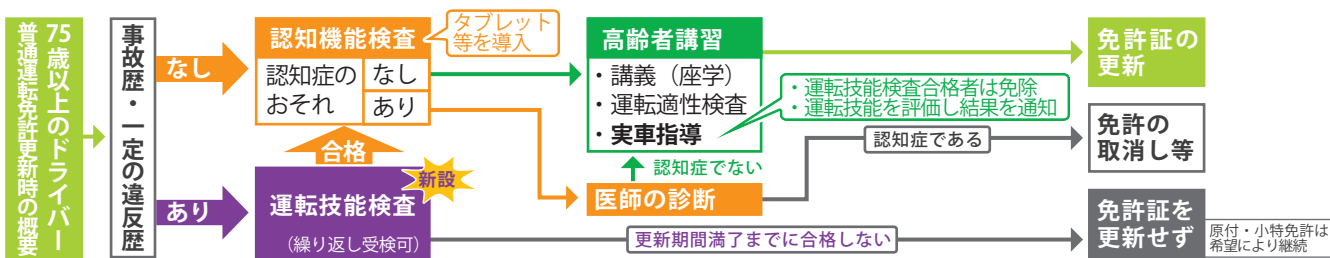
出典: 警察庁 令和3年3月「改正道路交通法(高齢運転者対策・第二種免許等の受験資格の見直し)の施行に向けた調査研究報告書」より弊社作成

※1 一定の違反行為(11項目)

信号無視	赤信号での交差点進入等	交差点右左折方法違反等	左折時にあらかじめ道路の左側端に寄らない等/環状交差点での右左折時にあらかじめ道路の左側端に寄らない等
通行区分違反	反対車線へのはみ出し、逆走等	交差点安全進行義務違反等	信号機のない交差点で左方から進行してくる車両の進行妨害等/優先道路を通行する車の進行妨害等
通行帯違反等	追越車線の通行、路線バス等が接近してきたときに優先通行帯から出ない行為等	安全運転義務違反	交差点進入時・通行時における安全不確認等
速度超過	最高速度を超える速度で運転	安全運転義務違反	環状交差点内を通行する車両の進行妨害等
横断等禁止違反	他の車両等の交通を妨害するおそれのあるときに横断、転回、後退等をする行為/道路標識等により横断、転回又は後退が禁止されている場所でのこれらの行為	横断歩行者等妨害等	環状交差点進入時・通行時における安全不確認等
踏切不停止等・遮断踏切立入り	踏切の直前で停止せずに通過等 遮断機が閉じようとしているときに踏切に入る行為	安全運転義務違反	横断歩道を通行している歩行者の通行妨害等
		携帯電話使用等	前方不注意、安全不確認等
			携帯電話を保持して通話しながらの運転等(交通の危険を生じさせた場合を含む。)

令和4年5月13日から、75歳以上のドライバーの方で過去3年間※2に一定の違反行為や交通事故を起こしていた場合は、免許更新時に実車による「運転技能検査」を受けることが義務付けられます。検査では、指示速度による走行、適切な一時停止、安全な信号通過や右・左折、段差に乗り上げたときの適切な運転操作等の課題を実施し、採点されます。免許更新期間の満了までに運転技能検査に合格しない場合は、免許更新ができません。運転技能検査を通して、適切な運転技能を再確認することは、安全運転を続けるためにも重要になります。

※2: 免許更新時の誕生日の160日前から過去3年間



原付・小特免許は希望により継続

高齢ドライバーが関係する交通事故を防ぐためには

免許更新後、常に適切な運転技能を維持し、交通事故を防ぐためにはどうしたらよいかをみてみましょう。

安全確認を十分に行い、慎重な運転操作を心がけましょう

運転経験が豊富になるほど、自分の運転は「大丈夫」と思い込み、交通環境への油断や習慣化された運転をしがちになります。しかし、若いころよりも確実に身体能力や情報処理能力は低下しています。不意に自転車が現れて慌てたり、交差点を右折するのに焦ったりしたとき、判断や操作を誤る可能性が高くなります。一時停止の標識があるところでは、停止線で車を止め、安全確認を十分に行いましょう。交差点での右折や車庫入れなど複雑な運転操作を要するときは、一つ一つ順番に安全確認を行い、慎重な運転操作を心がけましょう。



安全確認を十分に行う

慎重な運転操作を行う

定期的に眼科検診を受けましょう

ご自身に自覚が無くても、加齢とともに視力の低下や視野が狭くなり、さらに眼球を動かす筋肉も衰えて動体視力が低下します。そうすると、運転中に信号や標識を見落としやすくなり、歩行者や車両の動きを的確にとらえることが難しくなるなど、危険の発見が遅れが生じてしまいます。視力検査はもちろんのこと、定期的に眼底検査を含む眼科検診を受け、問題があれば早期に治療を行いましょう。



眼科検診を受ける

サポカーSワイド搭載車への買い替えと、サポカー限定免許への切り替えを検討してみましょう

ドライバーの運転をサポートし、安全を支援するシステムを搭載した車が実用化されています。中でも、サポカーSワイド^{※3}は、事故を未然に防いだり被害を軽減したりすることが可能な先進安全技術搭載車です。登録台数10万台当たりの全車両とサポカーSワイド搭載車の事故件数を比べると、サポカーSワイドは事故件数が約41.6%も減少しました(図3)。また、今回の法改正では、本人の申請により普通自動車運転免許をサポカー限定条件付き免許へ切り替えることができるようになりました。「運転免許返納を考えているけど、移動に車が必要だ」「運転を続けるために、家族を少しでも安心させたい」という方は、サポカーSワイド搭載車の買い替えと同時に、サポカー限定免許への切り替えも検討してみましょう。ただし、安全装置を頼りすぎず、装置の機能を正確に把握した上で、上手に活用しましょう。

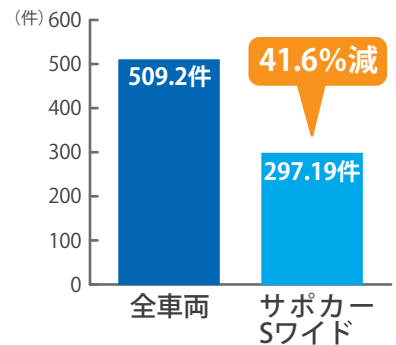


図3: 登録台数10万台当たりの第1当事者事故件数の比較(全車両とサポカーSワイド搭載車/平成29年5月~平成30年12月)

出典: 警察庁 令和2年3月「高齢運転者交通事故防止対策に関する調査研究報告書」より弊社作成

※3 サポカーSワイド

- ・衝突被害軽減ブレーキ(対歩行者)
- ・ペダル踏み間違い時加速抑制装置(AT車)
- ・車線逸脱警報装置(又は車線維持支援装置)
- ・先進ライト(自動切替型前照灯等)

高齢ドライバーが関係する交通事故を防ぐためには

◆安全確認を十分に行い、慎重な運転操作を心がけましょう

◆定期的に眼科検診を受けましょう

◆サポカーSワイド搭載車への買い替えと、サポカー限定免許への切り替えを検討してみましょう

今月のクイズの答え

③24,943件(約9%)

出典:公益財団法人交通事故総合分析センター 交通事故統計データ 令和2年「自動車の法令違反別・性別 年齢層別 全事故件数(第1当事者)」より

ご用命・ご相談は...



東京海上日動

URL www.tokiomarine-nichido.co.jp

担当営業課